

小児看護支援論	—	1年後期	2単位 (30時間)	選択必修
担当: 岡田 摩理・神道 那実				
対応するディプロマポリシー (DP) ・専門領域における卓越した看護実践能力を有している。(CNS・認定看護管理者コース)				

授業目的及び到達目標

【授業目的】

現在の子どもと家族がおかれている社会・保健・医療・教育の状況を探求するとともに、母子プライマリーケアや家族ダイナミックスおよび小児看護・保健サポートシステムの現状を知り、関係専門職および諸機関に対する今後の課題を修得する。

【到達目標】

1. 現在の子どもと家族がおかれている社会・保健・医療・教育の状況を理解できる。
2. 小児プライマリーケアや家族ダイナミックスおよび小児看護・保健サポートシステムの現状を知り、今後の課題を修得する。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	オリエンテーション / 子どもを取り巻く社会環境の現状分析	岡田・神道
2	日本と世界における経済・文化・自然	岡田 摩理
3	日本と世界における経済・文化・自然	岡田 摩理
4	日本と世界における家族・保育園・学校 (教育)	岡田 摩理
5	日本と世界における家族・保育園・学校 (教育)	岡田 摩理
6	小児保健: 小児保健統計、母子保健行政および施策 (第一次・第二次健やか親子を含む)	神道 那実
7	小児保健: 小児保健統計、母子保健行政および施策 (第一次・第二次健やか親子を含む)	神道 那実
8	学校保健: 学校保健統計、学校保健行政および施策	岡田 摩理
9	学校保健: 学校保健統計、学校保健行政および施策	岡田 摩理
10	親の育児困難・不安と子育て支援	神道 那実
11	虐待の現状と虐待防止対策 (虐待防止法を含む)	岡田 摩理
12	虐待の現状と虐待防止対策 (虐待防止法を含む)	岡田 摩理
13	子どもの貧困	岡田 摩理
14	親子保健 / リプロダクティブ / ヘルス・ライツ	岡田 摩理
15	まとめ・授業評価	岡田・神道

授業方法

第1回～第15回: 講義・発表・討論

時間外学習

- 主体的・自律的に予習・復習を行う。
- ・授業への参加準備 (各回ごとに45分程度)
 - ・授業後の復習 (各回ごとに45分程度)
 - ・関連文献の検討 (7.5時間程度)
 - ・レポート課題への取り組み (15時間程度)

教科書

「日本子ども資料年鑑 2026」, 母子愛育会愛育研究所編, KTC中央出版, 370.3/N77/.26, 9784877583927
 「国民衛生の動向 2026/2027」(雑誌「厚生 の指標」増刊), 厚生労働統計協会編集, 厚生労働統計協会, 雑誌・製本雑誌架, *2026年8月刊行予定
 「国民の福祉と介護の動向 2026/2027」(雑誌「厚生 の指標」増刊), 厚生労働統計協会編集, 厚生労働統計協会, 雑誌・製本雑誌架, *2026年8月刊行予定

参考図書

随時、授業で資料の提示・配布を行う。

評価方法

討議への参加 (50%)、レポート (50%) を合計して評価する。

フィードバック

単元ごとの授業において、学修内容のフィードバックを行う。

その他

専門看護師コース必修